

四日市版コミュニティスクール報告書（平成30年度総括）

四日市市立山手中学校

校長 岡山 泰三

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校運営へ参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民等が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

そのために、本校の運営協議会は、「生徒の実態を把握し協議する」「学校教育活動を地域に広める」「生徒と家庭との関わりを深める」「生徒と地域の関わりを深める」の4つの視点で活動を行います。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 生徒の実態を把握し協議する

本校の運営協議会は、今年度4回の会議を持ちました。各委員には、会議開催時及び学校公開日における授業参観、文化祭や体育祭などの学校行事、さらにPTA活動等も参観いただくことで、生徒や保護者の実態を把握していただきました。また、全国学力・学習状況調査や本校独自の生活アンケート等の結果、地域からの情報等を提供しています。これらを踏まえ、学校の教育活動・経営等の状況について客観的な評価をいただくとともに、会議では、学校に対し様々な角度から助言等をいただきました。

特に今年度は9月の運営協議会で、スマートフォン等の所有率の上昇により、子どもたちの「活字離れ」「新聞離れ」が話題になりました。委員のメンバーの中には新聞販売店を営んでおられる方がみえ、「まずはスポーツ欄からでもいいので、新聞を読んでほしい。近くに新聞があることが大事だと思っている。」とおっしゃられ、10月中旬から毎朝全クラスに1部ずつ、朝刊を無償で提供していただけるようになりました。全国学力・学習状況調査の生徒質問紙に「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか?」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか?」という項目があります。これらの項目の本校生徒の回答は、全国平均と比べ、低くなっています。また、「新聞を読んでいますか?」の質問の回答も、全国平均よりも少し低くなっています。教室に新聞が届けられたことで、休み時間に新聞を広げる教員を囲む生徒や新聞を読む生徒の姿が見られるようになってきました。



【新聞を囲んで】



【体育祭】



【文化祭】

(2) 学校教育活動を地域に広める活動

運営協議会の委員には、年間を通して、学校教育活動に参加したり、見学したりすることにより、生徒や教職員の様子を知り、教育活動の内容を理解していただいています。そして、その情報を地

域の各種団体や地域の方々に発信していただいています。併せて、地域における日常の生徒の様子や地域の行事や取組に参加する生徒の様子を把握し、その情報を学校と共有していただいています。

このような活動を通して、「学校の応援団」としての役割を果たしていただき、「地域とともにある学校づくり」を進めていただきました。



【大四日市祭】



【海蔵地区文化祭】



【大谷台地区住民の集い】

(3) 生徒と家庭との関わりを深めるための活動

本校は、生徒との関わりを深めるPTA活動が活発です。今年度は主な活動として、PTA除草作業、親子大縄跳び大会、カレー作り等を行いました。

また、PTA研修講座を年2回実施しました。これらのPTA活動には、運営協議会の委員さんも参加していただくことも多く、これらを通して、学校をより深くご理解いただけたものと深く感謝しております。他にも、土曜授業・土曜活動を活用し、保護者・地域の方が来校できる様々な機会を設け、生徒の学校生活をより理解していただけるよう図りました。



【PTA研修講座】



【PTA大縄跳び大会】



【カレー作り】

(4) 生徒と地域との関わりを深めるための活動

本校では、各学年で「総合的な学習の時間」を通して、居住している地域を知るとともに、地域に愛着と誇りを持つことをねらった学習を実施しています。1年生は、「地域学習」として地域の「自然・環境」「産業」「福祉」「防災」「伝統・文化」「国際」について、グループ別の校外学習や外部講師を招いての学習を行いました。また、海蔵地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地元企業および地元老人会「若生会」などの協力を得、「福祉体験教室」を行いました。2年生は、地元の71か所の事業所等の協力を得て、職場体験学習を3日間実施しました。また、四日市市危機管理室と海蔵地区防災会と連携し、「地区防災教室」を行いました。3年生は、「海蔵川浄化活動」と「若生会」との交流を行いました。

また、例年実施している全校あげての校区内清掃活動「クリーン大作戦」も実施しました。この活動は、PTA役員・各自治会の協力も得た環境保全学習の一環で、地域へのボランティア活動として根づいた活動となっています。



【地域学習「産業」】



【クリーン大作戦】



【EM放流】

(5) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

運営協議会委員による学校関係者評価（4段階評価）では、19項目中18項目において、平均値が3.1を、11項目で平均値が3.5を上回りました。また、5項目で、昨年度より高い評価をいただきました。評価に関して、「危機管理体制(安全対策)」3.9、「保護者や地域の人たちとの連携」「情報発信の努力」3.8、「学校教育目標・学校づくりビジョンの適正」「学校教育目標・学校づくりビジョンの実現に向けた努力」「充実した学校生活」3.7と大変高い値となっており、本校の教育が充実していると評価していただいた結果であると思われまます。また、「キャリア教育」の視点を持って「生徒同士が関わり合い、学び合いのある授業の創造」や「授業づくり、授業改善」に取り組んできたこと、そして「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック活用推進協力校事業」の委託を受け、授業研究会や授業づくりの研修を深めてきたこと、さらには、総合的な学習の時間の取組や福祉体験教室、地区防災教室、安全安心教室、薬物乱用防止教室など、多くの地域の方に学校に来ていただき、生徒に直接指導する機会も多く取り入れる取組などを行ってきたことの成果が表れているものと考えます。今後も、さらに内容を深め、充実させていきたいと考えます。



【防災教室】



【安全安心教室】



【福祉体験教室】

保護者アンケートにおいては、19項目中14項目で3.1を超える評価をいただきました。特に「総合的な学習の時間や行事等、意欲的に取り組んでいる」「学校生活を楽しく送っている」「部活動に楽しく取り組んでいる」「社会のルールとともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる」「学校の教育活動は、生徒の健康で健全な生活習慣を身につけるのに役立っている」の項目で高い評価を得ることができました。子どもが学校生活に前向きに取り組む様子を見て、概ね本校の教育方針や教育活動にご理解をいただき、ご協力やご支援をいただいているものと考えられます。しかし、昨年度と比較し、評価が0.1ポイント下がった項目が6項目あり、来年度に向けての課題として、改善につなげていきたいと考えます。

生徒アンケートにおいては、17項目中16項目で3.1を超える評価でした。特に「学校生活は楽しい」の項目が3.4と最も高く、今回は0.1ポイント上がっており、概ね充実した学校生活を送ることができていると推察されます。

3 今後に向けて

(1) コミュニティスクール（運営協議会）の位置づけの明確化

運営協議会委員だけでなく、教職員、PTA役員、保護者、地域の方々がコミュニティスクールの位置づけや役割を把握し、更なる連携の強化、活動の活性化を進めていきます。そして、学校、地域が協働し、生徒の健全な育成を行っていきます。「山手中学校区で育ってよかった」と思える生徒を育てていきます。

(2) 明らかになった課題の解決に向けて

- ① 例年のことながら、運営協議会・保護者・生徒・教職員とも学校評価アンケート「学校施設・設備の環境整備」については、厳しい評価(運営協議会 2.3・保護者 2.8・生徒 2.9・教職員 2.6)となっていますが、今年度も教育委員会や運営協議会委員の働きかけにより、体育館屋根改修、自転車置き場雨どい改修等、長年改修要望をお願いしてきた箇所について改修工事を進めていただきました。しかしながら、昭和40年代に建てられた校舎ですので、使いづらい面が多々あることには変わりありません。今後も市教育委員会に要望するとともに、地域の方々の協力を得ながら少しずつでも改善していきたいと考えています。
- ② 山手中学校の周辺には幹線道路が通り、生徒の登下校時の交通量も大変多い状況にあり、加えて学校周辺において登下校時に生徒が集中する箇所もあります。今年度も三学期に入って連続して自転車通学生徒と自動車との接触事故が起きました。また、これまでも小杉地区の交差点や山手通り歩道の通行の仕方等について危険であると指摘されています。今後も引き続き、各学年・学級、地区別・全校集会での注意喚起だけでなく、四日市北警察署や阿倉川交番とも連携をとりながら、学校便りや学校ホームページなどでも注意喚起を行い、生徒の安全対策を進めていきます。
- ③ 今年度、山手中学校生の携帯電話やスマートフォンの所持率は74.8%で、やはり学年が上がるにつれ所持率は高くなり、3年生を除くと女子の方が所持率が高くなっています。今年度もSNSをめぐるトラブルがあり、ネットモラルに関する指導を継続しています。また、引き続き、運営協議会委員や関係団体と協力し、ホームページ等も活用しながら携帯電話やスマートフォンの正しい利用の仕方について啓発活動を続けていきます。
- ④ 運営協議会委員による学校関係者評価で「社会のルールとともに、時や場所に合った言動や挨拶について学んでいる」3.1(昨年度比-0.5)、「総合的な学習(地域学習や職場体験学習等)や行事等、意欲的に取り組んでいる」3.4(昨年度比-0.4)について、昨年度と比べると低い評価になりました。特にキャリア教育の根幹ともいえる「挨拶」については、時には停滞化していると感じられることもあります。本校教職員の行動指針にもあるように、引き続き教師自ら挨拶と言葉がけを日々実践し、生徒会活動等も通して、より「挨拶」そして「笑顔」の溢れる学校づくりを目指していきたいと考えます。

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立山手中学校

委員長 水越 貢

校長 岡山 泰三

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		27 (金) 授業参観、PTA総会
5	8 (火) 第1回CS運営協議会	12 (土) 池そうじ……………おやじの会・PTA 12 (土) 13 (日) 万古祭補導 19 (土) 2年：地区防災教室
6		7 (木) 学校公開日 (～12) 9 (土) PTA研修会「思春期の子どもを持つ保護者のための生と性のお話し」 16 (土) 1年：福祉体験教室
7		
8		25 (土) PTA親子除草作業 池そうじ……………おやじの会・PTA
9	28 (金) 第2回CS運営協議会	13 (木) 体育祭
10		27 (土) PTA親子大縄跳び大会・カレーづくり ……………生徒・PTA・教職員 29 (月) 学校公開日 (～11/2)
11	29 (木) 第3回CS運営協議会	2 (金) 文化祭 10 (土) 3年：進路説明会 13 (火) 1年：地域学習 2年：職場体験学習 (～15) 3年：若生会交流会、EM放流 26 (月) クリーン大作戦……………学校・PTA・自治会
12		
1		19 (土) PTA家庭教育講座 e-ネット出前講座 「知っていますか？家庭のルール」
2	13 (火) 第4回CS運営協議会	
3		8 (木) 卒業式 17 (土) 池そうじ……………おやじの会・PTA